

# 年間授業計画(シラバス)

三重県立伊賀白鳳高等学校

<b>教科・科目</b>	【必】国語・文学国語	<b>単位数</b>	2 単位	<b>履修年次</b>	3 年
<b>目 標</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 社会生活に必要な国語の知識を身に付け、さらに文学作品を読む中でより高度で専門的な知識を身につける。</li> <li>・ 考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりする。</li> <li>・ 言語の価値への認識を深め、読書に親しみ、文学作品を通して他者や社会に関わる態度を養う。</li> </ul>				
<b>使用教材</b>	<p>【教科書】新編 文学国語（大修館書店）</p> <p>【副教材】新訂国語図説五訂版（京都書房）、国語辞典第十一版（旺文社）          テスト式国語常識の総演習〈修訂三版〉（京都書房）          新常用漢字必携パーフェクトクリア（尚文出版）</p>				
<b>評価の観点・評価規準</b>	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度		
	応用的な国語の知識を身につけ、文学作品の中で適切に読み取ることができ、日本の文学作品に親しんだり理解したりしている。	筋道を立てて論理的に考えることができる。また、豊かに感じたり想像したりすることができ、それを表現し、自分の思いや考えを伝えるとともに、相手の思いや考えを適切に受け取ることができる。	文学作品を通して積極的に他者や社会に関わり、その中でもの見方や感じ方、考え方を深めている。また、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手として、より高度な表現力を身につけようとしている。		
<b>評価方法</b>	<p>目標をふまえ、「主体的に学習に取り組む態度」は、日々の授業への取り組みを中心に、「知識・技能」「思考・判断・表現」は、定期考査や基礎力診断テストを中心に、提出物の状況や小テストへの取り組み等、授業に取り組む姿勢や態度も含め、総合的に評価する。</p>				
<b>学 期</b>	<b>学 習 内 容</b>	<b>学 習 の ね ら い</b>			
1 学期	古典の世界 4 桐壺 若紫  山椒魚	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 古典特有の表現などについて知識を深めるとともに、古典の世界観を身につける。</li> <li>・ 内容や文章の構成、展開などについての的確に捉え、味わう。</li> <li>・ 文章の構成や展開、表現の仕方、表現について理解を深める。</li> <li>・ 登場人物の主張や心情を適切に読み取り、理解する。</li> </ul>			
2 学期	古典の世界 5 能登殿最期 四面楚歌  ころも	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 文語のきまり、古典特有の表現などについて改めて確認する。</li> <li>・ 内容や文章の構成、展開などについての的確に捉え、味わう。</li> <li>・ 文章の構成や展開、表現の仕方、表現について理解を深める。</li> <li>・ 登場人物の主張や心情を適切に読み取り、理解する。</li> </ul>			
3 学期	物語を紡ぐ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ これまでの学習を踏まえ、実際に自分で文章を書く。</li> </ul>			
<b>学習上の留意点</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 授業の準備をしっかりとってください。</li> <li>・ 課題は期日を守って提出してください。</li> </ul>				

# 年間授業計画(シラバス)

三重県立伊賀白鳳高等学校

教科・科目	【必】地理歴史・地理総合（建築デザイン科以外）	単位数	2 単位	履修年次	3 年
目 標	<p>・主体的・対話的で深い学びを実現するために、社会的諸事象の地理的な見方・考え方に根ざした追究の視点とそれを活かして解決すべき課題を設定し、その課題を追究したり解決したりする活動をおこなう。</p> <p>・主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての重要な資質・能力を培う。</p>				
使用教材	<p>【教科書】『高等学校 地理総合－世界を学び、地域をつくる』（第一学習社）</p> <p>【教科書】『新詳高等地図』（帝国書院）</p> <p>【副教材】『地理総合ノート 学習事項の整理と作業』（第一学習社）</p>				
評価の観点・評価規準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度		
	世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取組などを理解するとともに、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけている。	地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、それらをもとに説明したり議論したりする力を養う。	地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現のために、課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重する大切さについて自覚を深める。		
評価方法	<p>目標をふまえ、すべての観点「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」について日々の学習活動を基本として評価を行う。単元ごとに授業内容に対する理解度を確認しながら意見交流等を行い、意欲的に学習に取り組んでいるか、興味関心を持つことが出来ているかを評価する。また定期考査、小テストの点数やレポート、授業ノート、整理ノート等の提出物の状況などもふまえて総合的に判断し評価する。</p>				
学 期	学 習 内 容		学 習 の ね ら い		
1 学期	<p>1. 地図や地理情報システムと現代世界</p> <p>①世界地図の見方・使い方</p> <p>②デジタル化された地図</p> <p>③地理情報システムの活用</p> <p>2. 生活・文化の多様性と国際理解</p> <p>①人々の生活に彩りを与える気候</p> <p>②「衣・食・住」から見る世界</p>		<p>地球上の位置をあらわす緯度・経度や、地軸の傾きによる季節変化と時差の存在を理解し、日本と諸外国の時差や気候と生活・文化のちがいを理解する。</p> <p>タブレットを使ってさまざまなウェブ地図にアクセスし、日常的に使われているGNSSやGISなど、新しい地図表現の役割を理解する。</p> <p>多様なアイデンティティを持つ世界の人々と共生していくために、他者の文化を尊重するとともに、自らの文化を知ることが重要であることを学ぶ。</p>		
2 学期	<p>3. 地球的課題と国際協力</p> <p>①持続可能な開発目標（SDGs）</p> <p>②貧困問題</p> <p>③人口問題・食料問題</p> <p>④持続可能な水の利用</p> <p>⑤資源・エネルギー問題</p> <p>⑥教育・ジェンダー問題</p>		<p>現在、直面している地球的課題にはどのようなものがあるかに注目し、それらは相互に関連し、地域によって現れ方が異なることを、人口問題、食料問題、居住・都市問題、資源・エネルギー問題、地球環境問題といった具体的な事例を通して理解する。</p>		
3 学期	<p>3. 持続可能な地域づくりと私たち</p> <p>①地球規模で見る地形の姿と自然災害</p> <p>②人々の暮らしを取りまく自然環境</p> <p>③変動帯の自然と防災</p> <p>④湿潤地域の自然と防災</p> <p>⑤私たちができる災害への備え</p>		<p>日本に暮らす人々の生活は、気候や局地的な気候、地形などに影響を受けていることを、実体験に基づいて理解する。</p> <p>自らが住む地域のハザードマップをネットで検索して入手し、最も起こりやすいと想定されている災害は何か、避難時に障害となる場所はどこかなど、減災に向けて意欲的に取り組む。</p>		
学習上の留意点	<p>・私たちを取り巻く様々な社会問題に興味関心を持ち日々の学習に意欲的に取り組んでください。</p> <p>・与えられた課題は、期日を守り必ず提出してください。</p>				

# 年間授業計画(シラバス)

三重県立伊賀白鳳高等学校

教科・科目	【必】地理歴史・地理総合（建築デザイン科）	単位数	3 単位	履修年次	3 年	
目 標	<p>・主体的・対話的で深い学びを実現するために、社会的諸事象の地理的な見方・考え方に根ざした追究の視点とそれを活かして解決すべき課題を設定し、その課題を追究したり解決したりする活動をおこなう。</p> <p>・主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての重要な資質・能力を培う。</p>					
使用教材	<p>【教科書】『高等学校 地理総合－世界を学び、地域をつくる』（第一学習社）</p> <p>【教科書】『新詳高等地図』（帝国書院）</p> <p>【副教材】『地理総合ノート 学習事項の整理と作業』（第一学習社）</p>					
評価の観点・評価規準	<p>知識・技能</p> <p>世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取組などを理解するとともに、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけている。</p>	<p>思考・判断・表現</p> <p>地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、それらをもとに説明したり議論したりする力を養う。</p>	<p>主体的に学習に取り組む態度</p> <p>地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現のために、課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重する大切さについて自覚を深める。</p>			
評価方法	<p>目標をふまえ、すべての観点「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」について日々の学習活動を基本として評価を行う。単元ごとに授業内容に対する理解度を確認しながら意見交流等を行い、意欲的に学習に取り組んでいるか、興味関心を持つことが出来ているかを評価する。また定期考査、小テストの点数やレポート、授業ノート、整理ノート等の提出物の状況などもふまえて総合的に判断し評価する。</p>					
学 期	学 習 内 容	学 習 の ね ら い				
1 学期	<p>1. 地図や地理情報システムと現代世界</p> <p>①世界地図の見方・使い方</p> <p>②デジタル化された地図</p> <p>③地理情報システムの活用</p> <p>2. 生活・文化の多様性と国際理解</p> <p>①人々の生活に彩りを与える気候</p> <p>②「衣・食・住」から見る世界</p> <p>③暮らしを豊かにする産業</p>	<p>地球上の位置をあらゆる緯度・経度や、地軸の傾きによる季節変化と時差の存在を理解し、日本と諸外国の時差や気候と生活・文化のちがいを理解する。</p> <p>タブレットを使ってさまざまなウェブ地図にアクセスし、日常的に使われているGNSSやGISなど、新しい地図表現の役割を理解する。</p> <p>多様なアイデンティティを持つ世界の人々と共生していくために、他者の文化を尊重するとともに、自らの文化を知ることが重要であることを学ぶ。</p>				
2 学期	<p>3. 地球的課題と国際協力</p> <p>①持続可能な開発目標（SDGs）</p> <p>②貧困問題</p> <p>③人口問題・食料問題・都市・居住問題</p> <p>④持続可能な水の利用</p> <p>⑤資源・エネルギー問題</p> <p>⑥地球・環境問題の解決に向けて</p>	<p>現在、直面している地球的課題にはどのようなものがあるかに注目し、それらは相互に関連し、地域によって現れ方が異なることを、人口問題、食料問題、居住・都市問題、資源・エネルギー問題、地球環境問題といった具体的な事例を通して理解する。</p>				
3 学期	<p>3. 持続可能な地域づくりと私たち</p> <p>①地球規模で見る地形の姿と自然災害</p> <p>②人々の暮らしを取りまく自然環境</p> <p>③変動帯の自然と防災</p> <p>④湿潤地域の自然と防災</p> <p>⑤私たちができる災害への備え</p>	<p>日本に暮らす人々の生活は、気候や局地的な気候、地形などに影響を受けていることを、実体験に基づいて理解する。</p> <p>自らが住む地域のハザードマップをネットで検索して入手し、最も起こりやすいと想定されている災害は何か、避難時に障害となる場所はどこかなど、減災に向けて意欲的に取り組む。</p>				
学習上の留意点	<p>・私たちを取り巻く様々な社会問題に興味関心を持ち日々の学習に意欲的に取り組んでください。</p> <p>・与えられた課題は、期日を守り必ず提出してください。</p>					

# 年間授業計画(シラバス)

三重県立伊賀白鳳高等学校

教科・科目	数学・数学Ⅱ	単位数	2	単位	履修年次	3	年
目 標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指数、対数の公式等を利用した計算ができる。</li> <li>・微分、積分の概念が理解でき、計算ができる。</li> </ul>						
使用教材	<p>【教科書】新編 数学Ⅱ (啓林館)</p> <p>【副教材】アベレージ数学Ⅱ (啓林館)、Libry (中高生向けデジタル教材プラットフォーム)</p>						
評価の観点・評価規準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度				
	数学的活動を通して、指数関数と対数関数、微分法と積分法における基本的な記号や用語、概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化し、数学的に解釈・表現・処理する技能を身に付けている。	指数関数と対数関数、微分法と積分法を通して、事象を論理的に考察する力、数学を活用することで事象の本質を理解し、ほかの事象との関係を認識し、統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を身に付けている。	指数関数と対数関数、微分法と積分法を通して、数学のよさを認識し、積極的に数学を活用しようとする態度、数学的論拠に基づいて論理的に判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度を身に付けている。				
評価方法	「知識・技能」については、定期考査の基本問題やSPI 模試を総合的に判断し評価する。「思考・判断・表現」については、定期考査における発展的な内容の問題や授業内課題の取り組み状況などを総合的に判断し評価する。「主体的に学習に取り組む態度」については、授業に取り組む態度や発表などによる評価と、提出物などの内容を総合的に判断し評価する。						
学 期	学 習 内 容	学 習 の ね ら い					
1 学期	指数関数と対数関数 ・指数法則 ・指数関数とそのグラフ ・対数 ・対数の性質 ・対数関数とそのグラフ ・常用対数	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指数を正の整数から有理数へ拡張する意義を理解し指数法則を自由に用いて計算をすることができる。</li> <li>・対数の意味とその基本的な性質について理解し、簡単な対数の計算をすることができる。</li> <li>・指数関数、対数関数のグラフの特徴を理解し、方程式を解くことができる。</li> <li>・常用対数の意義を理解し、日常の事象との関わりや、その有用性を認識する。</li> </ul>					
2 学期	微分法と積分法 ・平均変化率と微分係数 ・導関数 ・微分法の公式 ・接線 ・関数の増減、極大・極小 ・不定積分 ・定積分 ・定積分と面積	<ul style="list-style-type: none"> <li>・微分係数や導関数の意味について理解し、和および差の導関数を求めることができる。</li> <li>・導関数を用いて関数の値の増減や極大、極小を調べグラフの概形をかく方法を理解する。</li> <li>・不定積分、定積分の意味について理解し、和および差の不定積分や定積分の計算をすることができる。</li> <li>・微分と積分の関係に着目し、積分の考えを用いて直線や関数のグラフで囲まれた図形の面積を求めることができる。</li> </ul>					
3 学期	既習事項の復習	<ul style="list-style-type: none"> <li>・進路先へ向けてこれまでの既習事項を復習すると共に、日常の事象や社会の事象などを数理的に捉え、数学的に表現・処理して問題を解決する力を養う。</li> </ul>					
学習上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・予習・復習をしっかりとし、日々の授業を大切にすること。</li> <li>・与えられた課題は、提出期日を守り必ず提出すること。</li> <li>・分からないところは、そのままにせず必ず質問すること。</li> </ul>						

# 年間授業計画(シラバス)

三重県立伊賀白鳳高等学校

教科・科目	数学・【学】数学演習	単位数	2	単位	履修年次	3	年
目 標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1、2年次で学習した数学ⅠAについて、演習を通して基礎の定着をはかる。</li> <li>・ 各公式の使い方、数学的思考方を身に付ける。</li> <li>・ 発展的な問題にも取り組み、論理的な思考力を身に付ける。</li> <li>・ 一般常識としての数学の知識を身につけ、活用できるようにする。</li> </ul>						
使用教材	<p>【教科書】 新編 数学Ⅰ, 新編 数学A (啓林館)</p> <p>【副教材】 実践テスト形式 ベストステップ 数学Ⅰ・A (中部日本教育文化会)</p> <p style="text-align: center;">完全攻略 高校生の一般常識+SPI 問題集 (実教出版)</p>						
評価の観点・評価規準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度				
	演習等を通して、数学ⅠA全般における基本的な記号や用語、概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化し、数学的に解釈・表現・処理する技能を身に付けている。	演習等を通して、数学ⅠA全般における事象を論理的に考察する力、数学を活用することで事象の本質を理解し、ほかの事象との関係を認識し、統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を身に付けている。	演習等を通して、数学ⅠA全般における数学のよさを認識し、積極的に数学を活用しようとする態度、数学的論拠に基づいて論理的に判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度を身に付けている。				
評価方法	<p>「知識・技能」については、定期考査の基本問題やSPI模試を総合的に判断し評価する。「思考・判断・表現」については、定期考査における発展的な内容の問題や授業内課題の取り組み状況などを総合的に判断し評価する。「主体的に学習に取り組む態度」については、授業に取り組む態度や発表などによる評価と、提出物などの内容を総合的に判断し評価する。</p>						
学 期	学 習 内 容	学 習 の ね ら い					
1 学期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 基本計算 (四則演算, 小数, 分数)</li> <li>・ 基礎的な算法</li> <li>比, 損益, 仕事算, 濃度算, 年齢算, 速さ・時間・距離, 確率, 組み合わせ</li> <li>平均の計算, 表の読み取り</li> <li>数学Ⅰの内容の復習</li> <li>・ 式の計算、式の展開、因数分解</li> <li>・ 平方根の計算</li> <li>・ 1次方程式, 連立方程式, 2次方程式</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 加減乗除や分数計算など数学において基本となる計算法を演習し、定着させる。</li> <li>・ 基本的な算法の学習を通して、数学の問題に対する思考法、問題に取り組む姿勢を身に着ける。</li> <li>・ 整式の展開や因数分解, 平方根の分母の有理化などについて理解し、応用問題に取り組む。</li> <li>・ 方程式について理解を深め、応用問題にも取り組む。</li> </ul>					
2 学期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 数学的思考に関わる内容</li> <li>集合, 推論 (順序・正誤)</li> <li>数学Ⅰの内容の復習</li> <li>・ 1次不等式, 連立不等式, 2次不等式</li> <li>・ 平面図形</li> <li>・ 面積と体積</li> <li>数学Aの内容の復習</li> <li>・ 集合の要素の個数</li> <li>・ 場合の数, 確率の計算</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 論理的に考える問題に取り組むことで数学的な思考法を学び、課題解決に向かう姿勢を身に着ける。</li> <li>・ 不等式について理解を深め、応用問題にも取り組む。</li> <li>・ 図形の性質を理解し、面積や体積の計算を身に着ける。</li> <li>・ 場合の数, 確率の概念への理解を深め、自由に計算し応用することができる。</li> </ul>					
3 学期	<ul style="list-style-type: none"> <li>数学Ⅰの内容の復習</li> <li>・ データの分析</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 統計に関する基本的な知識やデータの分析に必要なものの見方を習得する。</li> </ul>					
学習上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 予習・復習をしっかりとし、日々の授業を大切にすること。</li> <li>・ 与えられた課題は、提出期日を守り必ず提出すること。</li> <li>・ 分からないところは、そのままにせず必ず質問すること。</li> </ul>						

# 年間授業計画(シラバス)

三重県立伊賀白鳳高等学校

教科・科目	【必】保健体育・体育	単位数	2 単位	履修年次	3 年
目 標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1、2年次に学習した技術や体力を基本とし、総合的に学習する力を身につける。</li> <li>・生涯にわたって計画的に運動に親しむ資質や能力を養うことで、健康の保持増進のための実践力を身につける。</li> </ul>				
使用教材	【教科書】新高等保健体育 改訂版(大修館) 【副教材】最新スポーツルール(大修館)・新高等保健体育ノート(大修館)				
評価の観点・評価規準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度		
	運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようになるため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身につけている。	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間と考えたことを他者に伝える力を身につけている。	運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を身につけている。		
評価方法	授業への取り組み方を「主体的に学習に取り組む態度」、学習内容を高めるための工夫を「思考・判断・表現」、運動の実技試験や授業中での技術発揮(運動)の様子を「知識・技能」「表現」として評価をし、それらを総合的に評価する。				
学 期	学 習 内 容		学 習 の ね ら い		
1 学期	体づくり運動 ・集団行動 ・新体力テスト 種目選択制 ・バレーボール ・バドミントン ・サッカー ・ソフトボール 体育理論		・規律、規範を守ることや、責任を持った行動 など、集団生活の基礎を身につける。 ・体づくり運動では筋力や柔軟性を向上させ生活に必要な体力を養う。 ・種目選択制体育を行うことにより、生涯スポーツを視野に入れた種目選択、各種目の運営および管理を行う能力を養う。 ・スポーツの効果的な学習の仕方を学ぶ。		
2 学期	種目選択制 ・バスケットボール ・卓球 ・ゴルフ ・軟式テニス 体育理論		・種目選択制体育を行うことにより、生涯スポーツを視野に入れた種目選択、各種目の運営および管理を行う能力を養う。 ・体の作りやすくみを学ぶ。		
3 学期	種目選択制 ・バスケットボール ・卓球 ・ゴルフ ・軟式テニス 体育理論		・種目選択制体育を行うことにより、生涯スポーツを視野に入れた種目選択、各種目の運営および管理を行う能力を養う。 ・豊かなスポーツライフの設計の仕方を学ぶ。		
学習上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体操服等の準備を忘れずにしてください(見学時も基本的には同様です)。</li> <li>・活動場所(体育館、グラウンド、武道場等)への集合を、時間厳守で行ってください。</li> <li>・授業を見学するときは、必ず事前に担当教員に申し出てください。(理由等)</li> <li>・授業時の怪我防止(安全確保)のため、授業でのルールと指示をきちんと守ってください。</li> </ul>				

# 年間授業計画(シラバス)

三重県立伊賀白鳳高等学校

<b>教科・科目</b>	【必】外国語・コミュニケーション英語 II	単位数	2	単位	履修年次	3	年
<b>目 標</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相手が伝えようとすることを理解し、自分が伝えたいことを表現できるようになる。</li> <li>・主体的に言語活動を行うことの喜びを体験し、異文化理解に努める。</li> </ul>						
<b>使 用 教 材</b>	<p>【教科書】Amity English Communication II (開隆堂)</p> <p>【副教材】マトレ(ベネッセ)、Listening Box I (啓林館)、自主教材</p>						
<b>評価の観点・評価規準</b>	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度				
	友人や家族、学校生活などの日常的な話題や社会的な話題に関する会話や説明などを聞いたたり読んだり、概要や要点を把握することができる。英語の学習を通じて言語そのものやそれを運用する技術を身につけるとともに、その背景にある文化などを理解することができる。	日常的な話題について、伝えようとする内容を整理し、自分で作成したメモなどを活用しながら手と口頭で伝え合うことができる。また社会的な話題に関していたり読んだりしたことに基づき、読み取ったことや感じたこと、考えたことを伝えた上で、相手からの質問に対して適切に応答したり自ら質問し返すことができる。	他者とのコミュニケーションに関心を持ち、英語を聞いたたり話したりすることに意欲的に取り組み、またペアワークやグループワークでの学習を積極的に進めることができる。				
<b>評 価 方 法</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・英語を通して相手の伝えたいことやその文化的背景などを理解できるか (知識・技能)</li> <li>・英語を用いて自分の伝えたいことを表現できるか (思考・判断・表現)</li> <li>・他者とのコミュニケーションや学習に積極的に取り組んでいるか (主体的に学習に取り組む態度)</li> </ul> <p>以上3つの観点を、普通の授業・提出物、定期考査、各種テスト等で確認し総合的に評価します。</p>						
<b>学 期</b>	<b>学 習 内 容</b>			<b>学 習 の ね ら い</b>			
1 学期	Lesson 7 Artificial Intelligence Lesson 8 The Mystery of Colors			<ul style="list-style-type: none"> <li>・日常生活の身近な話題について基礎的な会話表現に慣れ、自分のことを伝え相手のことが理解できるよう学習します。</li> <li>・文法事項の整理を通して身近な話題についてよりスムーズなコミュニケーションが取れるように学習します。</li> </ul>			
2 学期	Lesson 9 Street Performers Lesson 10 The Culture of Selfies			<ul style="list-style-type: none"> <li>・日常生活の身近な話題について基礎的な会話表現に慣れ、自分のことを伝え相手のことが理解できるよう学習します。</li> <li>・文法事項の整理を通して身近な話題についてよりスムーズなコミュニケーションが取れるように学習します。</li> </ul>			
3 学期	Lesson 11 Finland Lesson 12 In Order to Live a Happy Life			<ul style="list-style-type: none"> <li>・日常生活の身近な話題について、相手に正しく情報を伝えられる、相手からの情報を正しく理解できるよう学習します。</li> <li>・文法事項の整理を通して身近な話題についてよりスムーズなコミュニケーションが取れるように学習します。</li> </ul>			
<b>学 習 上 の 留 意 点</b>	<p>・言語活動(声に出して読む、ペアワーク、発表等)への積極的な取り組みが必要です。「理解」にとどまるのではなく、積極的な「表現」につなげていくように学習します。個人端末を通じてファイルを参照したり提出することなども必要になります。</p>						